

# 市民行政評価（事務事業評価）について

資料番号  
**3**

## 1 目的

事務事業の目標達成度や費用対効果等を検証するとともに、市民による外部評価を実施することにより、公正で透明性の高い行政運営を推進する。

## 2 平成 30 年度の実施内容・スケジュール

- (1) 一次評価（事業担当課による評価） 5月
- (2) 二次評価（庁内ワーキンググループによる総合評価） 7月
- (3) 市民行政評価
  - ① 市民からの意見を募集 9～10月
  - ② 市民行政評価委員会 10～11月
- (4) 公表（行政改革推進委員会、ホームページ） 12月～
- (5) 検証・改善 評価結果を予算編成に反映し改善に努める。

## 3 内部評価

- (1) 一次評価（702件）

セルフチェック徹底のため、原則、全ての事務事業\*について一次評価を実施。

※ 一般会計及び特別会計の継続事業。ただし、平成 29、30 年度完了事業や平成 29 年度新規事業、平成 29 年度当初予算 100 万円未満の事業等は除外

- (2) 二次評価（19件）

一次評価対象事業のうち、新規事業の点検や社会環境等の変化への対応から評価すべき事務事業及び目標達成度や費用対効果が低い事務事業など、全庁的な視点から評価すべき事務事業について二次評価を実施

- (3) 内部評価の結果

評価区分	一次評価 対象事業	二次評価 対象事業	
		一次評価	二次評価
継 続	678 件	17 件	5 件（26.3%）
見 直 し	24 件	2 件	14 件（73.7%）
合 計	702 件	19 件	19 件（100.0%）

## 4 市民行政評価

- (1) 概要

限られた予算の中で、事業効果をより高めるための見直しや事業のあり方などについて、市民意見を募集するとともに、市民行政評価委員会における評価を実施  
※市民行政評価は、市民協働の推進の観点より、市民行政評価委員会が対象事業を選定

評価の観点	事業名
1. 新規事業の点検 3 事業	・「学都金沢アプリ」開発費 ・女性活躍加速化プロジェクト事業費 ・コミュニティ・スクール推進事業費
2. 社会環境等の変化への対応 3 事業	・パソコンサロン運営費 ・基幹相談支援センター事業費 ・在宅医療・介護連携推進事業費
3. 費用対効果の向上 2 事業	・介護職員人材定着促進事業費 ・まちなか空き家活用促進費補助

- (2) 市民意見の募集結果

募集期間 平成 30 年 9 月 18 日（火）～10 月 17 日（水）

応募件数 249 件

- (3) 市民行政評価委員会による評価

- ① 評価委員会の構成 学識経験者・公募委員等 10 名で構成
- ② 評価方法 事業担当課長とのヒアリングを通じて、廃止、見直し、継続の 3 区分で評価

- (4) 市民行政評価の結果 別紙のとおり